

# 新大田病院建設のお知らせ

## 大田病院の歴史を大切に、現地に新病院建設

大田病院は、1947年に現地に開所した日本教員診療所を前身とし、以来60年近く地域のみなさんに物心両面から支えられ「地域から生まれ」「地域とともに育ってきた」歴史を持つています。開設当時の方たちの「医は万人のために」という思いは多くの方々に支持され、大田病院の医療に脈々と受け継がれてきました。いまでは、あたりまえになった在宅診療や訪問看護、健康診断、労災職業病等にも全国でも先駆けとしてとりにくくできました。

### 地域の救急医療にとりくみます

本館は5階建てです。1階は救急外来、事務受付、放射線室、検査室、内視鏡検査室のエリアと、手術室、給食センターなどのエリアに分けて配置しています。救急車で来院した場合を考慮、スムーズに救急対応が行えるようにしました。放射線室では、新しくMRIを導入し、24時間常時稼働していましたが、大田病院で実施できるようにいたします。

### 入院環境は抜本的に改善します

2階から4階は一般病棟です。病室は個室から4床室まで、入院患者1人当たりの病室の面積は現在のおよそ2倍の広さになります。トイレ、洗面は部屋との分散配置を基本的に改善します。4床部屋もスペースを生かした配置と設備で、プライバシーに配慮したつくりになります。各病棟に50平方メートル程度の食堂、談話室を設けるほか、家族や多目的室などもつくり、お見舞いの方たちとのリラクセスしたひと時を過ごせるような工夫をしています。



新大田病院の病棟イメージ

### リハビリテーションを充実します

5階は、回復期リハビリテーション病棟を新しく開設します。集中したリハビリテーションが必要な状態の患者さんに対して、回復期リハビリテーションを充実したリハビリテーションを提供できるようにします。回復期リハビリテーション病棟は、大田区でも1カ所しかなく、患者さんからも他医療機関からも要望が強い課題のひとつです。この病棟には、医師、看護師、介護福祉士の他に、専従のリハビリスタッフを配置します。

### 回復期リハビリ病棟を新設

大田病院の特徴のひとつであるリハビリテーションはさらに充実させる方向で、訓練室は200平方メートルの広さとし、ここ数年リハビリスタッフ養成に力を入れています。施設が改善されればより快適なリハビリを提供できるでしょう。

### 透析施設も新しくします

本館のとなり、2階建ての透析施設も新しくします。

## みづか



### 城南保健生協の2カ所目の「グループホーム」建設地決定!!

昨年より、組合員のみなさんには「2カ所目のグループホーム建設に向けての増資のお願い」を行い、1,000万円を超える増資を寄せていただきました。この度、いよいよ具体化となりましたので、ご報告いたします

名称	グループホーム 虹の家しおかぜ (仮称)
定員	18人 (2ユニット)
併設施設	認知症デイサービス
場所	大田区大森東5丁目2番12号 (大田区立中富小学校近く)
開設時期	2008年10月1日 (最短の目標)

### 城南保健生協のグループホームの運営理念は

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、できるだけ経済的な負担が少なく、安心して入居できるグループホームを城南地域につくっていきます。今回は2カ所目の開設であり、1カ所目である「みちづか」の実践と経験を生かした運営に心がけます。

\* 建設に関する内容は、今後も「城南の保健」でお知らせしていきます。  
\* なお増資については、引き続き受付中です。ご協力を願っています。

充実したリハビリテーションを提供できるようにします。回復期リハビリテーション病棟は、大田区でも1カ所しかなく、患者さんからも他医療機関からも要望が強い課題のひとつです。この病棟には、医師、看護師、介護福祉士の他に、専従のリハビリスタッフを配置します。

大田病院の特徴のひとつであるリハビリテーションはさらに充実させる方向で、訓練室は200平方メートルの広さとし、ここ数年リハビリスタッフ養成に力を入れています。施設が改善されればより快適なリハビリを提供できるでしょう。

本館のとなり、2階建ての透析施設も新しくします。

別館を建設します。2階部分を病棟と連結し、大森東クリニック(透析)を移設します。ベッドの間隔や天井の高さ、各室の配管や壁の位置など、患者さんの快適性とプライバシー、医療の安全に配慮したつくりを追求しています。入院透析室を併設します。建物が高なっていますので、長く不便をおかけした病院とクリニックの移動も改善できます。

各診療所との利便性を改善します

新大田病院の建設にあわせて、まずは品川区内にある診療所と大田病院の巡回バスを開通し、患者さんや家族の方の利便性の向上にとりくんでいます。

建てかえ工事に向け、病院周辺の工事を10月から開始しています。現病棟の建てかえは、2008年7月から開始し、新病院は2010年4月から稼働を予定しています。その後、別館の建設に入り、2011年2月で建設工事を終了します。

建設期間中のことについていくつかご案内いたします。現地建てかえのため、現病棟を縮小しての工期が1年半ほどあります。その間もいままでもお救急の受け入れや入院は可能です。建設期間中はベッドが100床程度になりますので、何かと迷惑をおかけすると思

病棟が新しくなったら、入院料が高くなりますかと聞かれましたが、私たちがほしい「差額ベッド料」は受け取らない方針を厳守して、地域のみなさんとともに医療にとりくんでいく決意です。

最後になりましたが、60年近く支えていただいた城南保健生協の組合員さんや地域のみなさんに心からお礼を申し上げます。新大田病院建設委員会には、城南保健生協理事のみなさんにもご尽力いただいています。みなさんご一緒に、新大田病院建設にとりくんでいきますよ。

(新大田病院建設事務局 入部中朗)